

日米共同訓練は中止を

日米共同訓練反対上越地域の会 自衛隊高田駐屯地などに申し入れ

10月19日から11月1日にかけて、関山演習場および高田駐屯地を使用した「日米共同訓練」が実施されることとその概要が、先月陸上自衛隊によって公表されました。

関山演習場周辺は、自然が豊かな地域であるとともに、住宅、農地が隣接している地域です。また、多くの観光施設があり、冬季は県内外から多数の人が訪れる名所でもあります。

こうした地域で軍事演習を行うことは、市民を直接危険に巻き込みかねません。

また、過去に米軍車輛による交通事故が発生し、訓練中に自

衛官の死亡事故まで起きるなど、訓練そのものが住民の命と生活への大きな危険をはらんでいます。

さらに、他国の軍隊との共同訓練は、米軍・自衛隊の軍事一体化をめざすものであり、平和を願う国民と憲法に反する重大な危険性があります。

こうしたことから、日米共同訓練反対上越地域の会(嶋田五郎会長)は、関山演習場、高田駐屯地での「日米共同訓練」の中止を、陸上自衛隊高田駐屯地に申し入れました。

加えて、市民になんの通知もせずに先月ヘリコプター訓練を



自衛隊高田駐屯地にて



上越市役所にて

決行したことに対して、強く抗議しました。

その後、上越市、妙高市に対して、「関係当局に訓練の中止を要請すること」を申し入れました。

この申し入れには、日本共産党議員団の上野公悦、平良木哲也、樋口良子議員が同行しました。

春日山、桑取道と正善寺ダムを守る

春日山城・桑取道散策会に参加して 樋口良子

「春日山城を守る会」(並村有華代表―京都府)主催の、春日山城・桑取道散策会に10月11日、参加しました。

同会は、「上越市と新潟県が、春日山城領域近くの桑取道周辺で、管理型廃棄物最終処分場建設を進めている。しかし、この周辺には、かつて春日山本城を支えた番屋砦や長沢砦が点在するうえ、予定地は正善寺ダムの湖面より八十メートル高いため、伏流水等の影響がある。

桑取道は、春日山から続く軍道であり、越中へ抜ける道

でもある。今も残る豊かな自然は、将来にわたって由緒ある古道として必ず市民の方々に役立つものと思われる。

従って春日山城領域と桑取道周辺での『歴史的環境』と『歴史的景観』を保護するため、またダムの安全性のうえから、この地域での処分場建設の撤回を求めるとしています。

私も、この主張と同じ立場で、議会で再三取り上げ、この処分場建設の撤回を求めてきました。

この日は、同会員など総勢25人で、上越埋蔵文化財センターから大手道へ桑取道へ

城ヶ峰砦を、豊かな自然に囲まれながら、約4時間かけて歩きました(フー!)。途中桑取道から建設予定地の位置を確認。城ヶ峰砦から正善寺ダムを望み、ダムが建設予定地より低い位置にあることを視察。これでは、飲み水が不安だと再認識しました。



城ヶ峰砦より
正善寺ダムをのぞむ

市は自衛隊の計画を鵜呑み? 市民不在の対応に抗議

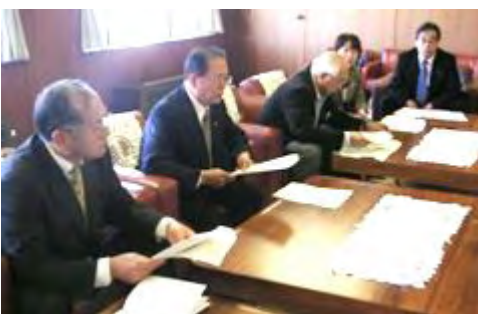
自衛隊の武装走訓練計画 日米共同訓練に連動した動き?

去る9月29日、自衛隊による武装走訓練についてのお知らせが、16町内会で回覧されていることが、小関議員等の調べで明らかになりました。

14日水曜日に市内の三郷地区で、約30名の隊員が小銃(実弾抜き)を携行し、戦闘靴を履いて重車両とともに走り回るという計画です。

前日に自衛隊から連絡を受けた上越市が回覧文書を出したもので、自衛隊からの連絡を鵜呑みにして、そのまま通知したようです。また、この件は市長副市長のみならず担当部長さえも関知していません。市民からの抗議もあり、その後自衛隊はこの訓練を中止したようです。

こうした市民不在の対応に対して、日本共産党



議員団は、市民クラブの本城議員、小関議員とも市に對して急遽強く抗議しました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.204 2009年10月18日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
樋口 良子 544-6802 (中門前3)
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 525-9096 (上中田)